

## 令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

### 1. 使用状況

寄贈物品名	高圧洗浄機
使用学年及び人数	主に作業学習班(環境整備班)   13人
使用頻度	月2回
使用状況	<p>知的の特別支援学校では、「作業学習」という働くことをダイレクトに学ぶ学習活動に取り組んでいます。本校では「栽培班」「工業デザイン班」「地域サービス班」「印刷班」「環境整班」、5つの作業班に分かれて縦割りの学習グループでの活動を組んでいます。</p> <p>今回いただきました高圧洗浄機は、そのうちの「環境整備班」にて、活用させていただいています。「環境整備班」はいわゆる清掃業務を柱に活動する班です。実際に、清掃業者の方を講師にお呼びしての授業も組んでおり、より実践的な活動の中から、働くということの難しさから、やりがいを学んでいます。</p> <p>実際には、校舎内中庭テラス「ひかり庭」のコケ処理、「ひかり庭」の窓清掃、普通教室等の掃き出し扉の網戸清掃で使用しています。また、高等部2年の職場実習前の集中的に行う「集中作業」でも活用させていただいています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>「ひかり庭」では、コケ処理においてポリッシャーを同時に使用しておりますが、高圧洗浄機は確実に汚れを落とすことができ、効果を実感できるので、生徒の意欲を引き出すことができます。</p> <p>また、窓清掃では、手の届かない高いところ、道具の入らない角や隅の汚れを落とすことが可能になりました。「環境整備班」では、併設高校の設備にも清掃に入っています。その範囲が広がり、今まで以上に自分たちが人の役に立っている実感を得ることができるようになりました。</p> <p>網戸清掃では、汚れを確実に落とせ、時間短縮、雑巾の枚数削減に大きな効果を出せており、より専門性高い作業活動が提供できるようになりました。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>元より本校にありました高圧洗浄機と合わせて、2基稼働することができるようになりました。現在、高圧洗浄機につなぐ専用ホースが1本しかないため、一般的なホースやバケツを利用して、作業を進めました。ホース付け替えの手順が複雑ですが、生徒のみで高圧洗浄機をセット(準備)できるような、用具の工夫や手順の整理をすることが課題です。</p> <p>また、教員が専門的な道具を使いこなすための研修や準備が必要です。</p>
その他希望や所感など	<p>今後も、南の丘分校は、より実践的な作業学習や実体験を伴う学習を進めていきたいと考えています。そのための道具の提供や専門家の派遣などに、お力を貸していただけると、教育の充実につながり、大変ありがたいです。</p>

## 2. 活用の様子

セッティングの様子



環境整備班の仲間たち

